

令和 8 年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	中学 6	学校名	土浦第一高等学校 附属中学校						課程		学校長名	谷津 勉					
副校長名	松延 亮一			教頭名				須田康二郎			事務(室)長名			加藤 健司			
教職員数	教諭	15	養護教諭	2	常勤講師	1	非常勤講師	0	実習教諭、実習講師、実習助手	0	事務職員	5	技術職員等	3	計	30	
生徒数	小学科		1年次		2年次		3年次		合計		合計		クラス数				
			男	女	男	女	男	女									
	普通科		42	35	40	40	38	38	120	113	6						

2 目指す学校像

項目	詳細
生徒	<ul style="list-style-type: none"> 自ら考えて主体的に行動し、自ら課題を発見・解決する生徒の育成を目指す。 幸せな未来を創造するために、多様性を受容して他者と協働できる生徒の育成を目指す。 自らの将来像を明確に意識し、高い進路目標を目指して果敢に挑戦する生徒の育成を目指す。
教員	<ul style="list-style-type: none"> 探究心をもって研究と修養に励み、自己の資質・能力向上を目指して学び続ける教員を目指す。 教育DXによる、業務の効率化及び教科指導の資の向上を図ることができる教員を目指す。 生徒が希望する進路を実現できるように、キャリア教育を組織的・継続的に支援する教員を目指す。
学校	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人の人間力の育成と高い進路目標を達成する学校を目指す。 生徒の思考力・判断力・表現力を高める探究学習の実践と、主体的な進路選択及び将来設計を支援するキャリア教育の充実を目指す。 生徒の安心・安全を守るため、コンプライアンス、危機管理、いじめなどについての適切な対応の徹底を目指す。 保護者、同窓生、地域、関係機関、そして国内外の教育機関等との連携を強化し、よりよい教育環境の整備を目指す。

3 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

項目	現状分析	課題
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業第一主義」を掲げて、1分1秒を大切にす60分授業を実施している。 ・令和7年12月実施の生徒を対象とした学校評価アンケートでは、授業や教員の対応に対する評価について、どの項目においても満足度が高いという結果が得られており、60分授業を有効活用した質が高く、内容の濃い授業を展開することができているといえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・質が高く、内容の濃い授業を維持するために、教科内研修会や考査問題検討会、相互授業公開等の校内教員研修会を、計画的・継続的に実施する必要がある。 ・各教科等で習得した概念や考え方を活用し、新たな問いを見出して解決する学習を一層充実させる必要がある。
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・難関国公立大学への進学を希望する生徒が多い。 ・学ぶことと自己の将来とのつながりを見通すことができるよう、保護者や外部の協力による職業人講話、企業や研究所等へ訪問を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につなげるための高校への確実な引き継ぎが必要である。 ・起業家精神醸成のための体験的な学習等の機会や、それらの成果を表現する活動を設定する必要がある。
生徒支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々と連携して登下校指導及び交通指導を行ったり、自転車のヘルメット着用を促したりしているので、大きな事故はないが、登下校時の自転車の乗り方やバス乗車のマナーについては指導の機会が増えている。 ・特別活動等による集団づくりや各教科における授業づくりをとおして、生徒の活躍の場を保障するとともに、互いに認め合う機会を確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全や安全なSNS利用について理解を深めることができるよう、継続的に学級活動や授業、集会等を通じて規範意識の高揚を図る必要がある。 ・プロアクティブな生徒指導を推進するとともに、学校生活の在り方について生徒自身に考えさせ、自律的に学校生活をデザインしていけるよう、さらなる支援が求められる。

別紙様式 1 (中)

<p>特別活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎の特別棟改修工事にあたり、交通動線や使える施設が制限された中でも、生徒が主体的に行動して文化祭をはじめとする学校行事や部活動等が積極的に行われている。 ・学校行事や生徒会活動、学級活動の場面で、多様な意見を認め合い、折り合いをつけて集団として意見をまとめる場面が多く見受けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間力を高めるために、学校行事や部活動等の中で、様々な活動と内省を通して他者への感謝を重ねることにより、謙虚な姿勢と感謝を意識しながら、よりよい人間関係を築いていくことが求められる。 ・高校における内進生と外進生が合流する年次に向け、高校とのさらなる連携が求められる。
<p>働き方改革</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月の時間外在校時間が 45 時間超過する者は、10%以下であり、生徒と向き合う時間や教材研究に費やす時間の確保の推進が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育DXにより、個別最適化された学びや学習ログの活用等、業務の効率化を図り、勤務時間及び健康管理を意識した働き方を推進する必要がある。

4 中期的目標

<ol style="list-style-type: none"> 1 主体的・対話的で深い学びを実現し、思考力・判断力・表現力を高めるための授業改善 2 グローバルリーダーを育成するための探究学習及び国際理解教育の充実 3 生徒一人一人の希望進路を実現するための組織的・系統的なキャリア教育の推進 4 自主的・自立的態度及び豊かな人間性を育成するための学校行事、部活動等の充実 5 保護者や地域の理解と信頼を深めるための教育活動の積極的な情報発信 6 教職員の資質・能力の向上実現に資する業務改善と職場環境づくりの促進

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 主体的・対話的で深い学びを実現し、思考力・判断力・表現力を高めるための授業改善	①見通しをもち、他者と協働しながら課題解決に取り組む学習の充実 ②生徒による授業満足度 3.5 以上
2 グローバルリーダーを育成するための探究学習及び国際理解教育の充実	③ドリームパス等の各種コンテストへの積極的参加 ④海外希望研修による多文化共生の基礎づくり
3 生徒一人一人の希望進路を実現するための組織的・系統的なキャリア教育の推進	⑤キャリア形成のための保護者や地域住民等による対話的な関わりの確保 ⑥各教科における指導内容とキャリア教育との関連の明確化
4 自主的・自立的態度及び豊かな人間性を育成するための学校行事、部活動等の充実	⑦生徒の学校行事、部活動等への主体的な参画 ⑧行事活動を通じた課題発見
5 保護者や地域の理解と信頼を深めるための教育活動の積極的な情報発信	⑨保護者や地域との連携・協働 ⑩教育活動の積極的な情報発信
6 教職員の資質・能力の向上実現に資する業務改善と職場環境づくりの促進	⑪セルフマネジメントとコンプライアンス遵守 ⑫教育DXによる業務の効率化及び適正化